



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバル
 コード番号 8275 URL <http://www.forval.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 将典
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 加藤 康二 TEL 03-3498-1541
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	37,416	1.3	1,717	6.5	1,784	7.3	1,009	3.5
29年3月期第3四半期	36,949	0.6	1,612	7.2	1,663	12.0	975	32.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,165百万円(△11.4%) 29年3月期第3四半期 1,315百万円(88.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	39.58	39.58
29年3月期第3四半期	38.26	38.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	22,230	9,220	37.6
29年3月期	21,687	8,962	37.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 8,351百万円 29年3月期 8,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	19.00	19.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	3.5	2,800	10.0	2,800	7.0	1,700	7.0	66.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	27,732,622株	29年3月期	27,732,622株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	2,663,449株	29年3月期	2,237,448株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	25,494,948株	29年3月期3Q	25,487,513株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の緩やかな成長を受けて輸出や設備投資の増加基調が続き、企業収益や雇用情勢の改善を受けて個人消費も底堅く推移しました。一方で米国の政策動向や英国のEU離脱問題など不確実性も増えています。

また、当社グループの事業領域である情報通信分野においては、クラウドやビッグデータ、IoT関連などのサービスが拡大するとともに、AIを活用したサービスの開発が加速しています。

このような経営環境下、当社グループは「次世代経営コンサルタント」として企業経営を支援する集団となり、中小・中堅企業の利益に貢献することを目指し、「情報通信の知識・技術を駆使した経営コンサルティングサービス（情報通信分野）」、「海外マーケットを独自ノウハウで取り込む経営コンサルティングサービス（海外分野）」、「環境に配慮した最先端の経営コンサルティングサービス（環境分野）」、「次世代経営に必要な人材を育てる経営コンサルティングサービス（人材・教育分野）」の4分野に特化することで他社との差別化を図り、質の高いサービスを提供するためにM&Aも活用しながら事業の拡大に取り組んでいます。

このような環境のもと当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は以下のようになりました。

売上高は前年同期に比べ467百万円増加し、37,416百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

利益面では売上総利益が前年同期に比べ462百万円増加（前年同期比4.0%増）した一方で、販売費及び一般管理費は人件費が増加したもののその他の経費の抑制に努めたことで前年同期に比べ358百万円増加（前年同期比3.6%増）にとどまり、営業利益は1,717百万円（前年同期比6.5%増）、経常利益は1,784百万円（前年同期比7.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,009百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<フォーバルビジネスグループ>

「アイコンサービス」が順調に拡大したほか、サーバーやネットワークセキュリティ等の販売が好調に推移した結果、売上高は13,626百万円（前年同期比4.3%増）、セグメント利益は1,166百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

<フォーバルテレコムビジネスグループ>

光回線サービスやISPが順調に拡大した結果、売上高は11,055百万円（前年同期比5.0%増）、一方で印刷関連の子会社の売上が減少した影響で、セグメント利益は412百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

<モバイルショップビジネスグループ>

携帯販売台数が前年同期比9.8%増となった結果、売上高は8,091百万円（前年同期比8.7%増）、一方で人員の増強や主として店舗運営に関連してキャリアから受ける支援金の制度変更等により、セグメント利益は132百万円（前年同期比49.2%減）となりました。

<総合環境コンサルティングビジネスグループ>

再生可能エネルギー特別措置法（FIT法）改正の影響を受け太陽光システムの販売が減少した結果、売上高は3,834百万円（前年同期比25.8%減）、セグメント損失は12百万円（前年同期は12百万円の利益）となりました。

<その他事業グループ>

IT教育サービス事業で通信教育関連が好調に推移したほか、IT技術者派遣事業で派遣人員が増加した結果、売上高は808百万円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益は58百万円（前年同期比282.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ542百万円増加し22,230百万円となりました。

流動資産は16,687百万円となり、前連結会計年度末比101百万円の減少となりました。これは主として現金及び預金が432百万円増加したのに対し、受取手形及び売掛金が481百万円減少したことによるものです。

固定資産は5,542百万円となり、前連結会計年度末比644百万円の増加となりました。これは主として無形固定資産が261百万円、投資その他の資産が360百万円増加したことによるものです。

流動負債は10,465百万円となり、前連結会計年度末に比べ著しい増減はありません。

固定負債は2,543百万円となり、前連結会計年度末比285百万円の増加となりました。これは主として長期借入金が増加したことによるものです。

純資産は9,220百万円となり、前連結会計年度末比258百万円の増加となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益1,009百万円に対し、配当金の支払い484百万円、自己株式の取得390百万円等により株主資本が175百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績は現時点で概ね想定した範囲内で推移しており、平成29年5月12日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,996,665	6,429,129
受取手形及び売掛金	5,745,716	5,263,811
商品及び製品	976,169	1,164,609
仕掛品	43,231	81,392
原材料及び貯蔵品	69,568	97,280
その他	4,054,747	3,749,489
貸倒引当金	△97,097	△98,243
流動資産合計	16,789,000	16,687,469
固定資産		
有形固定資産	460,419	483,565
無形固定資産		
のれん	151,620	453,991
その他	584,486	543,355
無形固定資産合計	736,106	997,346
投資その他の資産		
投資有価証券	1,639,372	1,816,181
その他	2,508,680	2,739,965
貸倒引当金	△446,027	△494,065
投資その他の資産合計	3,702,025	4,062,080
固定資産合計	4,898,551	5,542,992
資産合計	21,687,552	22,230,461
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,263,822	4,836,920
短期借入金	590,263	1,369,350
未払金	1,859,322	2,041,297
未払法人税等	515,524	171,658
賞与引当金	628,089	476,537
役員賞与引当金	182,447	130,383
返品調整引当金	10,197	9,670
その他	1,416,898	1,429,947
流動負債合計	10,466,565	10,465,766
固定負債		
長期借入金	6,551	225,000
退職給付に係る負債	2,147,658	2,241,056
持分法適用に伴う負債	35,811	10,369
その他	68,755	67,496
固定負債合計	2,258,776	2,543,922
負債合計	12,725,341	13,009,689
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,275,627	2,287,794
利益剰余金	2,340,800	2,865,430
自己株式	△1,211,968	△1,572,958
株主資本合計	7,554,754	7,730,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	688,921	707,774
為替換算調整勘定	△14,241	△13,109
退職給付に係る調整累計額	△92,190	△74,168
その他の包括利益累計額合計	582,489	620,497
新株予約権	22,157	37,420
非支配株主持分	802,809	832,291
純資産合計	8,962,210	9,220,772
負債純資産合計	21,687,552	22,230,461

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	36,949,116	37,416,363
売上原価	25,352,628	25,357,688
売上総利益	11,596,487	12,058,675
販売費及び一般管理費	9,983,496	10,341,602
営業利益	1,612,991	1,717,072
営業外収益		
受取利息	5,317	5,020
受取配当金	11,213	17,130
違約金収入	55,931	92,825
助成金収入	48,533	17,212
その他	36,106	51,827
営業外収益合計	157,103	184,016
営業外費用		
支払利息	8,209	8,550
貸倒引当金繰入額	58,345	67,255
持分法による投資損失	32,150	34,439
その他	7,670	6,189
営業外費用合計	106,375	116,434
経常利益	1,663,719	1,784,654
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	5,550	4,385
特別利益合計	5,550	4,386
特別損失		
固定資産除売却損	239	2,558
投資有価証券評価損	7,261	2,800
減損損失	2,618	113
その他	—	136
特別損失合計	10,119	5,608
税金等調整前四半期純利益	1,659,149	1,783,432
法人税、住民税及び事業税	496,542	619,426
法人税等調整額	51,693	36,306
法人税等合計	548,236	655,733
四半期純利益	1,110,913	1,127,699
非支配株主に帰属する四半期純利益	135,666	118,660
親会社株主に帰属する四半期純利益	975,246	1,009,038

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	1,110,913	1,127,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	190,457	18,853
退職給付に係る調整額	16,694	18,022
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,434	1,132
その他の包括利益合計	204,716	38,007
四半期包括利益	1,315,630	1,165,707
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,179,963	1,047,046
非支配株主に係る四半期包括利益	135,666	118,660

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年12月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式480,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が360,990千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,572,958千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,064,042	10,524,982	7,442,105	5,164,811	36,195,941	753,174	36,949,116
セグメント間の内部 売上高又は振替高	397,073	437,880	15,272	12,184	862,410	26,750	889,160
計	13,461,116	10,962,862	7,457,377	5,176,996	37,058,352	779,925	37,838,277
セグメント利益	949,366	448,380	260,873	12,367	1,670,988	15,296	1,686,284

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,670,988
「その他」の区分の利益	15,296
セグメント間取引消去	11,363
のれんの償却額	△84,657
四半期連結損益計算書の営業利益	1,612,991

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「フォーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては145千円であります。

また、処分を予定している事業用資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては2,250千円であります。

「フォーバルテレコムビジネスグループ」セグメントにおいて、遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては221千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,626,990	11,055,748	8,091,292	3,834,034	36,608,065	808,298	37,416,363
セグメント間の内部 売上高又は振替高	409,049	437,064	13,606	51,938	911,658	27,172	938,830
計	14,036,039	11,492,813	8,104,898	3,885,973	37,519,724	835,470	38,355,194
セグメント利益又は損 失(△)	1,166,182	412,380	132,469	△12,860	1,698,172	58,462	1,756,635

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,698,172
「その他」の区分の利益	58,462
セグメント間取引消去	3,392
のれんの償却額	△42,954
四半期連結損益計算書の営業利益	1,717,072

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「フォーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては113千円であります。

「フォーバルテレコムビジネスグループ」セグメントにおいて、当社連結子会社の株式会社保険ステーションは、株式会社リベストコーポレーションからの事業譲受により、のれんが372,329千円増加しております。